



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2015.8

No.376

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



平成 27 年度(第 31 回)総会

平成 27 年 6 月 28 日(日)午後 1 時 30 分から、さいたま市民会館うらわ 4 階 402-403 集会室で、総会を開催しました。(文中敬称略)

●記念講演



佐野和宏の司会で定刻に開始。記念講演は(公財)日本野鳥の会普及室安西英明主席研究員(写真左)の『フィールドガイド日本の野鳥』新たな改訂のポイント。

図版と解説の順番は前半・水辺の鳥、後半・山野の鳥とする初版の形を大切に引き継ぎ、内容は日本鳥類目録改訂第 7 版と、新たに知られるようになった事などに基づき、数千ヵ所を修正した結果、専門家からも高い評価をいただく図鑑ができたとのことでした。

●表彰式など



藤掛保司代表の開会の挨拶で総会が始まり、平成 26 年県内鳥見ランキング探鳥会参加回数の

部 1 位の中川敏子(写真左)と観察鳥種数の部 1 位の吉原早苗(写真右)に表彰状と副賞が渡されました。

議長に相原修一、書記に吉原俊雄、議事録署名人に菱沼一充・山口芳邦が選出されて、議事に入りました。

●平成 26 年度事業報告

海老原美夫事務局長が、映像をまじえて平成 26 年度事業について報告しました。

【普及活動関係】

普及部(部長:年度中に橋口長和から長野誠

治に交代)が担当した探鳥会は、年間 110 回(月平均 9.2 回)、参加者合計 4,155 人。その他リーダー研修会、年末講演会などを開催した。普及部以外の会員の普及活動 12 件。

【保護活動関係】

見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワークに協力して、さいたま市発行『見沼たんぼ見どころガイド 2015』に「見沼たんぼの野鳥たち」の写真と解説原稿を提供した。さいたま市緑区環境講演会を後援。武蔵丘陵森林公園の地域懇談会に参加。神奈川支部の多摩川河口干潟保全署名活動に協力、など。

【調査研究関係】

研究部(部長:小林みどり)は、カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類調査などを継続した。

記録委員会(委員長:年度中に小林みどりから榎本秀和に交代)は、3 件の事例について検討し、結果を『しらこぼと』誌上で発表した。

【広報活動関係】

編集部(部長:山部直喜)は、会誌『しらこぼと』を年 12 回、合計 21,600 部発行した。

IT 委員会(委員長:浅見徹)は、探鳥会参加者、会員の増加をめざし、公式サイト の充実につとめた。

【総務・事務局関係】

会員数は引き続き減少。減少率は 2.9%。関東ブロック協議会(吾妻担当)出席。次回 27 年度担当幹事として、関東ブロック協議会実行委員会(委員長:小林みどり)を発足して準備を始めた。

【事業活動関係】

事業部(部長:大坂幸男)は、会の財政安定に貢献した。

事業報告の詳しい内容は、当会ホームページに全文掲載していますので、ご覧ください。

●平成 26 年度収支決算

平成 26 年度収支決算は右ページ表(誌面の

都合で、一部の項目を合算したものを掲載します)の通りです。青木正俊・楠見邦博両監事が監査結果を報告しました。

●平成 27 年度事業計画・収支予算

平成 27 年度事業計画案は、通常の事業を継続し、関東ブロック協議会開催を新規事業とします。27 年度予算案は、事業部会計から一般会計に年間 40 万円を補填するものであることが説明され、ここまでの議事はその都度拍手で承認されました。

●平成 27 年度役員



前年度役員のうち佐久間博文(川越市)が退任を申し出ました。そのほかの 41 名を再任、石塚敬二郎(写真左)、鈴木秀治(写真右)の 2 名を新任として選出する案が承認されました。

●代表交代、新副代表選出

総会を一旦中止して平成 27 年度役員による最初の役員会を同じ場所で開催、代表が藤掛保司から海老原美夫に交代となり、新しい副代表として山部直喜が選出されました。

●平成 27 年度役員

[代表] 海老原美夫(さいたま市)
 [副代表] 小林みどり(さいたま市) 山部直喜(三郷市)
 [幹事] 相原修一(鴻巣市) 浅見徹(さいたま市) 新井巖(深谷市) 石井智(鴻巣市) 石川敏男(春日部市) 石塚敬二郎(さいたま市) 石光章(所沢市) 伊藤芳晴(川口市) 井上幹男(長瀨町) 入山博(春日部市) 榎本秀和(鴻巣市) 大坂幸男(上尾市) 小荷田行男(さいたま市) 佐野和宏(越谷市) 杉本秀樹(習志野市) 柴野耕一郎(さいたま市) 須崎聡(川口市) 鈴木秀治(ふじみ野市) 田邊八州雄(越谷市) 玉井正晴(蓮田市) 千島康

幸(小川町) 手塚正義(川口市) 長嶋宏之(蓮田市) 中島康夫(蓮田市) 長野誠治(さいたま市) 中村豊己(東松山市) 野口由美子(上尾市) 橋口長和(春日部市) 長谷部謙二(川越市) 菱沼一充(白岡市) 菱沼洋子(白岡市) 藤掛保司(川越市) 茂木幸蔵(行田市) 持丸順彰(志木市) 森本國夫(さいたま市) 山口芳邦(新座市) 吉原早苗(北本市) 吉原俊雄(北本市)

[監事] 青木正俊(さいたま市) 楠見邦博(さいたま市)

●新代表海老原挨拶

12 年間支部長・代表を務めていただいた藤掛保司前代表と交代することになりました。藤掛さんの長年のご功績に深く感謝し、引き続き幹事としてお力添えをいただきます。支部発足以来 30 年以上副支部長・副代表を続け、普通なら引退の年齢になって代表に就任することになりましたが、責任を果たしたいと思っています。今後も、会員の皆様のご支援をお願いします。

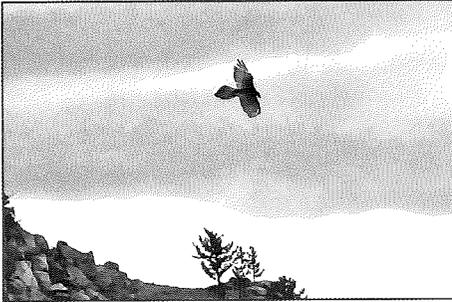


日本野鳥の会埼玉 平成26年度決算 27年度予算 収入の部

	項目	26年度決算	27年度予算
一般会計	期首繰越金	1,073,257	333,194
	会費	2,752,850	2,800,000
	その他	578,895	462,000
	事業部会計から	0	400,000
	一般会計合計	4,405,002	3,995,194
事業部会計	期首繰越金	2,603,784	2,698,848
	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	事業部売上金	527,308	600,000
	事業部雑収入	829	1,000
	事業部会計合計	8,131,921	8,299,848
総合計		12,536,923	12,295,042

	項目	26年度決算	27年度予算
一般会計	会報印刷費	1,236,384	1,200,000
	会報発送料	786,048	790,000
	家賃	984,000	984,000
	その他	1,065,376	920,000
	期末繰越金	333,194	101,194
	一般会計合計	4,405,002	3,995,194
事業部会計	運営準備積立金	5,000,000	5,000,000
	一般会計へ	0	400,000
	その他	433,073	502,000
	期末繰越金	2,698,848	2,397,848
	事業部会計合計	8,131,921	8,299,848
総合計		12,536,923	12,295,042

ヒゲワシよ、永遠なれ！
松井 昭吾（さいたま市）



多くの方からモンゴル探鳥の素晴らしさ、雄大さを聞かされて羨望やるかたなき思いでいたところ、古い鳥友Yさんの「現地で何かあったら、その時はその時！」とのお誘いに意気を感じ、「そうだ、その気持ちで行ってみよう！」と決心。家内と2人で参加した。モンゴル先輩のAさんからいただいたイヌワシの爪のお守りを身に着けて！

モンゴル、ゴビ砂漠！ 広漠たる荒々しい砂漠。その一角Yolyn Amに私の大好きな猛禽、それも超大型猛禽が多数棲む！ 探鳥のターゲットはそれら大型猛禽に絞られた。

かねてより私はヒゲワシに重大な関心をもっていた。その巨大なこと、ヒゲらしきものがあること、動物の死骸から骨を取り出して高いところから落として骨を砕き、その中の骨髄が大好物というのが予備知識だった。

初対面の6月7日、標高 2,300mの Yolyn Am(ハゲワシ溪谷)は、前夜の雪で真っ白だった。両側に屹立する岩峰を隈なく双眼鏡で探っていくと……いるいる、あちこちに猛禽が……。ハゲワシ類ではあるが、まだヒマラヤハゲワシかシロエリハゲワシか判明しない。

いたっ！ いたっ！ ヒゲワシだ！ はっきりと他のハゲワシと違う、やや大きめの褐色の頭、さらによくみると顔面にヒゲらしいものが見える(右下写真:山部直喜)。あっ！ 飛んだ！ 滑翔中！ そして次から次へとヒマラヤハゲワシ、シロエリハゲワシもその旋回の輪に入る！ 「(シロより)でかいのがヒマラヤだ」との声もする。ぐるぐる回る、かなり高い！ タカ柱ならぬワシ柱の出現に皆

狂喜する。これこそ正に私がモンゴルで何よりも遭遇したかった光景だ！

一羽が離れて単独飛行！ あっ！ これはヒゲワシ！ やや長めの尾が見える。他のハゲワシとは全然尾の形が違う。ある文献の表現「長くて菱形」にぴったりだ。「菱形」の尾は今まで見たことがない。尾の付け根が狭く、細い。それが次第に幅広になり、さらに最後尾は細くなる。全体的に「菱形」をしている。また他の文献ではそれを「ダイヤモンド形」と呼んでいるがそれにも納得。両方とも実に見事にその形状を表している(左上写真:松井昭吾)。

ヒゲワシの和名はそのものずばりで単純明解。ところが英名には、「Lammergeier」と「Bearded Vulture」の2種あって両者とも公認されている。現在の文献ではLammergeierがどうも主流をなしている。Lammergeierとは何ぞや？ よくよく調べてみると、Lamb(子羊)に関連があり、おそらく「子羊を食べるハゲワシ」という意味であろうか？

Mark Brazil氏はその名著『Birds of East Asia』で、ずばりBearded Vultureを使っているのは明解で、和名の「ヒゲワシ」と完全に一致する。

今回のモンゴル探鳥でのチェックリストによれば、80数種の鳥を観察したことになっている。しかし、私の頭の中には「ヒゲワシ」がで〜んと重きをなしており、その他の鳥たちの存在は影が薄くなってしまった！

それで良い！ 私は今回、青空と雪という最高のステージで、「ヒゲワシ」との生涯最高の出遭いを果たしたのだから。

ヒゲワシよ、永遠なれ！



感動！ 紅く染まる夕空に 数千羽のツバメの乱舞!! 増尾 隆 (坂戸市)



昨年6月11日、鳥友のY氏から、日本野鳥の会本部の「全国ツバメのねぐらアンケート調査」の転送メールがきた。翌日の夕方、近くの調整池にねぐら利用の現況を観に行く。調整池の面積は4,500㎡で、住宅地の一角にある。面積の8割はヨシ原で、日中はゴイサギが休んでいる。ヨシ原をねぐらに集まるツバメは先ず巣立った若鳥で、目を追って子育てを終えた親鳥も集合することから、6月中旬はまだ少なく、7月に入ると一気に多くなる。

6月19日、「ツバメのねぐら調査アンケート・別表」を記入し埼玉の事務局にメール送信。これを機会に、デジカメの動画機能で撮影を始める。ツバメは日没1時間前ぐらいから集まりだす。7月上旬のねぐら入り状況を、時間系列的に書こう。

PM6:30 池上空に数十羽が姿を見せる。かなり高い空を集団で飛び回りながら時間の経過とともにどンドン数が増える。PM6:50~7:00 最大となるが、いくつもの群れで、高度や角度を変えて飛んでいる。PM7:00~7:10 群れごとにヨシ原に降下するも止まらず、再び上昇。池から200mほど離れた上空まで行つては池に戻ってくるを繰り返す、PM7:15 ごろからヨシ原に降り止まる暫く騒がしいがPM7:30 ごろには静かになる。あたりはすっかり暗い。

撮影には10回ほど通い、季節の変化、時間の分かる作品をと、各カットを撮る。累積撮影時間120分。これを知人に依頼、規定の3分以内の作品に編集し、NHK投稿動画サイトに投稿した。

◇NHK投稿動画「ツバメのねぐら入り」の見方

「ツバメのねぐら入り りゅうせい」で検索。投稿者：りゅうせい、投稿日時：2014.8.2017:55のものです。視聴回数は6/30現在847回でしたが、今ではNHKのHPがリニューアルされ新たに0回からスタートです。



野鳥情報

春日部市増田新田 ◇3月31日朝、自宅近くの親水広場、ツグミがシダレザクラの枝で囀る。ツグミの囀りを聞くのは初めて。複雑な美声だった。4月12日朝、自宅近くの谷原親水広場、新緑のコブシの木の中でツグミ1羽、囀る(石川敏男)。

春日部市武里中野 ◇4月10日、ムナグロ冬羽3羽・夏羽2羽の群れが自宅近くの田んぼに今季初めて飛来した。11日、冬羽9羽・夏羽6羽。12日、冬羽10羽・夏羽5羽。13日、冬羽9羽・夏羽2羽。16日、冬羽6羽。17日、冬羽6羽・夏羽1羽。4月12日朝、チュウサギ3羽飛来、今季当地初認。4月13日朝、ツグミ41羽十、近くのサッカーグラウンドの芝地にて採餌。4月15日午前10時5分、セッカの囀り、初鳴き。4月17日現在、タヒバリ 当地数羽残留中。4月17日現在、ホオアカ3羽 当地残留中(石川敏男)。

春日部市大沼運動公園 ◇4月11日午後5時頃、メタセコイアの木にとまっていたツグミ4~5羽の内の1羽が囀る(石川敏男)。

さいたま市岩槻区東町 ◇4月17日早朝、車を運転中、街中をフワフワと北へ飛ぶカケス1羽確認。5月8日午後6時30分頃、東の上空から「ジュイチー、ジュイチー、ピピピピ」とジュウイチの音が響く。姿は見つからず(鈴木紀雄)。

さいたま市西区の鴨川 ◇4月18日、新川との合流点でヒドリガモ♂1羽♀3羽が採餌。先ごろまで三橋総合公園付近に残っていた小群がここまで下つたらしい。4月22日、学校橋近くの桜の梢でコムドリ♂1羽♀1羽、シメ1羽など(大塚純子)。

さいたま市岩槻区岩槻文化公園 ◇4月19日、アカゲラ♂1羽を間近に見る。白、黒、赤の色が実に鮮やか! エナガがつがいで羽毛をくわえて動き回っていた。カケスがまだいた。コチドリ、ツバメが飛ぶ。グラ

ウンドにツグミ15羽、ぐぜりも聞く（鈴木紀雄）。

蓮田市蓮田 ◇4月24日、約30羽のムナグロを友人と3人で観察していたとき、ムナグロが一斉に飛び立ったので「鷹」の飛来を感じ、上空を見まわすも、その姿はなかった。その眼を下に向けた瞬間、眼に入ったのは、激しく羽をバタつかせるムナグロとそれを押さえつける「鷹」。狩り直後の様子だった。ムナグロが静かになり、カラス2羽が近づいていくと「鷹」は、あつという間に飛び去ってしまった。短時間の出来事だったことと、当地で時折オオタカを観察するので、襲ったのは当初オオタカと思い込んでしまったが、後からハヤブサが襲ったものとわかった。自然界の厳しい様子を目の前にするという貴重な体験をするとともに、当地で初めてハヤブサを確認することができた（田中幸男）。

さいたま市見沼区深作 ◇4月24日、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、ツバメ。ダイサギの目先がブルー（本多己秀・久文子）。

蓮田市西城沼公園周辺 ◇4月24日、2羽のコジュケイが道端のミミナグサの花芽を食べていた。4月25日、梢でセンダイムシクイが囀った。ホオジロが梢で囀った。ウグイスが屋敷林で綺麗に囀った。カケス2羽がナラ林で枝移り。これが今季のここの終認となった。5月4日、キビタキの囀りがナラ林から聞こえた。5月6日、農家の屋敷林からキビタキとシジュウカラの二重奏。姿を確認できず残念。5月8日、1本のサクラの実を7羽のオナガが夢中に採餌。5月12日、西沼にコアジサシ2羽が飛来、今季初認。その後、毎日2羽～10羽が飛来し、綺麗な飛び込みを見せてくれた。5月20日頃、公園管理者によってカワセミの繁殖場所に立ち入り禁止の表示とロープが張られた。5月29日、カワラヒワとホオジロが囀っていた。シジュウカラとムクドリは巣立ち雛を確認（長嶋宏之）。

蓮田市深作 ◇4月25日、コチドリ3羽、今季初認。ムナグロ31羽、ダイサギ3羽、チ

ュウサギ11羽、アオサギ3羽、カルガモ、セッカ、ツグミ3羽、ツバメ10羽十、ハクセキレイ1羽（本多己秀・久文子）。

さいたま市見沼区丸ヶ崎 ◇4月27日午前、コチドリ7羽、ムナグロ28羽、タヒバリ1羽、ツバメ、ダイサギ、チュウサギ、ヒバリ、セッカ、ツグミなど。5月1日午前7時頃、ムナグロ28羽、キジ♀など。5月3日、オオヨシキリが橙色の大きな口を開けて、あちこちで鳴き、キジの声もあちこちから聞こえる。キジ♀がそろって、緑の中で餌をとっている姿も見られた。5月5日午前7時、ムナグロ33羽、ダイサギ、チュウサギ、ツバメ。アオサギがカラスに追われていた。5月6日午前6時30分、ムナグロ52羽（4群の合計）、キジ♀、コチドリ、ヒバリ。5月8日午前6時、ムナグロ5羽、キジ♀、ダイサギ、ヒバリ、ツバメなど（本多己秀・久文子）。

さいたま市岩槻区高曾根 ◇4月29日、ケリ1羽（鈴木紀雄）。

さいたま市岩槻区馬込 ◇5月1日午前7時30分頃、ムナグロ41羽、アマサギ1羽、キジ♀、コチドリ、セッカなど。5月2日午前7時30分頃、ムナグロ63羽（3群の合計）。セッカ、コサギ、ツバメ、ムクドリ。5月3日、ムナグロ18羽、カワセミ1羽、ダイサギ、コサギ、ツバメ。5月4日、ムナグロ21羽、ヒバリ、民家の庭でキジ♀。5月8日午前6時50分頃、ムナグロ60羽。アオサギ2羽が20m位上空を飛ぶ。羽音がよく聞こえた（本多己秀・久文子）。

さいたま市岩槻区掛 ◇5月2日午前7時頃、キアシシギ1羽、ムナグロ23羽、ダイサギ3羽。5月6日午前7時、ムナグロ38羽、コチドリ1羽、ダイサギ1羽、チュウサギ8羽。5月8日午前6時30分頃、ムナグロ28羽、キアシシギ5羽、ダイサギ、ツバメ（本多己秀・久文子）。

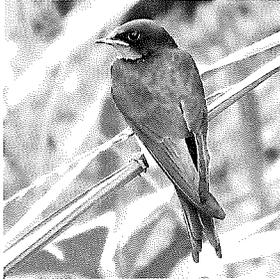
表紙の写真

キジ目キジ科キジ属キジ

8月にもなると、子らは親とほとんど同じ大きさに育っているが、動作を見ると、やはり親は親、子は子。 **徳名貴房(さいたま市)**



行事案内



ツバメ幼鳥

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生50円、一般100円。

持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。間際に時刻表が変更される場合もあります。ご注意ください。

北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月2日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園学習センター玄関前広場。

交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(修)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、岡安、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：野鳥に出会える機会の少ない季節です。でも、この公園は、鳥以外にも自然がいっぱいです。木陰の道を歩いて、昆虫や植物も楽しみましょう。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月9日（日）

集合：午前8時20分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:00発、または寄居7:39発に乗車。

担当：茂木、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上

見どころ：真夏のいちばん暑いところで、生きものが耐えています。その中で、鳥たちも私たちも自然を満喫するのは観察会ならではです。ツバメや夏鳥に会いたいな。ご注意：集合時刻が、今月も夏時間です。飲み物の携帯と、必要な方は紫外線対策をお忘れなく。

千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月15日（土）

集合：午後1時、JR京葉線南船橋駅前。

交通：JR武蔵野線 武蔵浦和12:01→南浦和12:04→京葉線直通→南船橋12:54着。

担当：杉本、伊藤、手塚、野村(修)、長谷部、菱沼(一)、菱沼(洋)、渡邊

見どころ：シギ、チドリ等の秋の渡りを楽しめます。珍鳥が出やすい季節です。**午後の開催**ですので注意してください。熱中症対策を十分に！

『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月15日（土）午後3時～4時ころ

会場：会事務局108号室

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月16日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後路線バスで現地へ（ご注意：案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：浅見(徹)、青木、赤堀、浅見(健)、石塚、楠見、小菅、小林(み)、柴野、須崎、新部、畠山、増田

見どころ：短めのコースで、真夏の三室を歩きます。ホオジロはまださえずっているかな？ キジは出迎えてくれるかな？

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

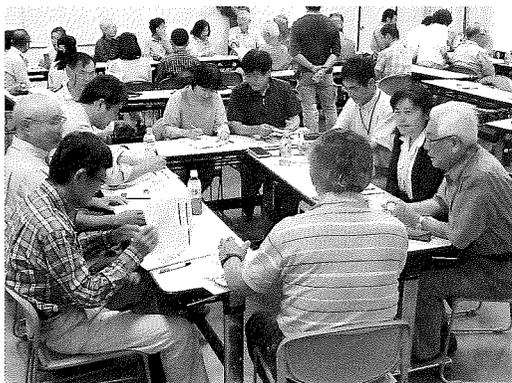
期日：8月23日（日）
集合：昼の12時15分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス12:45発船橋海浜公園行きに乗車し終点で下車。
交通：JR武蔵野線南浦和11:15→西船橋にて総武線に乗り換えて船橋で下車。
担当：菱沼（一）、小林（み）、佐野、杉本、和田、渡邊
見どころ：潮回りにより午後の開催となります。渡り途中のシギ・チドリ、アジサシなどに加えて、越夏中のミヤコドリなど。普段は埼玉ではお目にかかれないシギ・チドリに出会える良い機会です。

栃木県足尾・松木溪谷～群馬県館林市・多々良沼探鳥会（要予約）

期日：8月30日（日）
詳細は7月号をご覧ください。

リーダー研修会（要予約）

期日：9月6日（日）午前9時30分～午後4時30分（受付開始：午前9時）。
会場：北本市・埼玉県自然学習センター
交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。
申し込み：初めてリーダー研修会に参加される方は、往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、推薦者の名前を明記して、



昨年のリーダー研修会 グループ討議

長野誠治（

）へ。8月30日必着。

役員・リーダーの方も電話またはメールで、必ず事前に参加申し込みをお願いします。

初めての方の参加資格：探鳥会や支部活動にリーダーとして協力できる埼玉会員で、役員かリーダー1名以上から推薦された方。
その他：①筆記用具と簡単な観察用具を持参してください。

②昼食（弁当）は、普及部で用意します。

長野県・白樺峠、乗鞍（置平）探鳥会（要予約）

期日：9月21日（月・祝）～22日（火・祝）
集合：21日午前8時45分、JR上田駅温泉口（南口）改札付近。
交通：長野新幹線「あさま601号」（大宮7:18発→熊谷7:31発→上田8:29着）に乗車。集合後、解散まで貸切りバスを使用。
解散：JR長野駅にて22日午後6時30分頃。
費用：26,000円（現地バス代・宿泊費・親睦会費・2日目の昼食と飲物・保険代など）。
過不足の場合は当日精算。集合地までおよび解散地からの交通費は各自負担。
定員：20名（埼玉会員優先、応募多数の場合は先着順）。最少催行人数16名。
申し込み：往復はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、生年月日（保険加入に必要）、喫煙の有無を明記して、入山博（ ）まで。

8月1日消印以降から有効受付とします。

担当：入山、玉井、藤澤、星

見どころ：サシバやハチクマが目の前を渡って行く姿を観察します。今回は100羽位のタカ柱が見られるのでしょうか？

2日目は乗鞍に行つてライチョウを探す予定です（初日の白樺峠の結果次第）。

夜は宿自慢のきのこ料理で秋の味覚を楽しみましょう。

その他：男女別の相部屋です。個室の用意はできません。雨天の場合は、白樺峠近くの探鳥地または観光地に行く予定です。

参加者には後日、詳しい案内をお送りします。

2015年9月～12月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。変更されることもあります。確定情報は、その月の会誌『しらこぼと』の行事案内欄でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地
9	6	日	(リーダー研修会)
	13	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	20	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	20	日	坂戸市 高麗川
	21-22	祝・休	長野県 白樺峠・乗鞍 (要予約)
	23	祝	松伏町 松伏記念公園
	23	祝	(さいたま市 大久保農耕地 調査)
	27	日	狭山市 入間川 [定例]
	27	日	(飯能市 天覧山 調査)
10	4	日	北本市 石戸宿 [定例]
	4	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	11	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	17	土	加須市 渡良瀬遊水地
	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	18	日	川越市 西川越
	24-25	土・日	長野県 戸隠高原 (要予約)
	25	日	行田市 さきたま古墳公園
	25	日	日野市 多摩動物公園 (要予約)
11	7	土	松伏町 まつぶし緑の丘公園
	7	土	上尾市 丸山公園
	8	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	8	日	春日部市 内牧公園
	12	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	14	土	さいたま市 見沼自然公園
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	15	日	嵐山町 菅谷館都幾川
	19	木	戸田市 彩湖 (平日)
	21	土	加須市 渡良瀬遊水地
	22	日	狭山市 入間川 [定例]
	23	祝	本庄市 坂東大橋
	23	祝	志木市 柳瀬川
28-29	土・日	宮城県 燕栗沼 (要予約)	
29	日	蓮田市 黒浜沼	
12	5	土	所沢市 狭山湖
	6	日	北本市 石戸宿 [定例]

12	6	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	6	日	加須市 加須はなさき公園
	12	土	さいたま市 岩槻文化公園
	13	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	13	日	(会員を増やすための探鳥会)
	16	水	加須市 渡良瀬遊水地 (平日)
	19	土	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	19	土	(新企画検討中)
	20	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	23	祝	(年末講演会)
1	29	火	幸手市 宇和田公園
	4	月	さいたま市 さぎ山記念公園

9月～12月「あの鳥は、どこで」予報

2010～2014年の9月から12月の探鳥会で見られた野鳥は、県内で131種でした。いくつかの鳥について、出現率(出現回数/実施回数)が高い探鳥会を調べてみました。今年は見られるでしょうか。

- トモエガモ (渡良瀬遊水地で12月に60%)
- ヒメアマツバメ (入間川で9月に75%)
- タゲリ (黒浜沼で11月に60%)
- ミサゴ (狭山湖で12月に80%)
- ハイタカ (丸山公園で11月に60%、石戸宿で12月に60%)
- ハヤブサ (大麻生で12月に80%、渡良瀬遊水地で12月に60%)
- カケス (丸山公園と黒浜沼で11月に80%)
- ミヤマガラス (羽生水郷公園で11月に75%、加須はなさき公園で12月に60%)
- ヒガラ (武蔵丘陵森林公園で12月に60%)
- ショウドウツバメ (大麻生で10月に60%)
- エナガ (岩槻文化公園で12月に100%、丸山公園で11月に60%)
- ルリビタキ (狭山湖と武蔵丘陵森林公園で12月に60%)
- ノビタキ (民家園周辺で10月に75%)
- コサメビタキ (石戸宿で10月に60%)
- ベニマシコ (渡良瀬遊水地で12月に70%、宇和田公園で12月に60%、菅谷館都幾川で11月に60%)
- ウソ (石戸宿で12月に60%)
- オオジュリン (黒浜沼で11月に100%、渡良瀬遊水地で12月に60%)



行事報告

1月31日(土) 嵐山町 菅谷館都幾川

参加: 19名 天気: 晴

カイツブリ キジバト アオサギ ダイサギ クサシギ ハイタカ ノスリ カワセミ コゲラ アカゲラ アオゲラ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ミソサザイ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ イカル ホオジロ カシラダカ アオジ (36種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 雑木林の地面でシロハラが採餌中。シジュウカラ、ヤマガラ、エナガ、メジロ、コゲラの混群が出現。アオゲラが木から木に飛び移るのも全員でじっくり見ることができた。オオムラサキの森ではイカルの50羽以上の群れとシメ。ホテルの里では、アオジ、カシラダカ、アカゲラも出てくれた。都幾川に出ると、カワセミが枝にとまり、クサシギ、セキレイ類4種が出て、ノスリが遠くの木にとまっていた。ジョウビタキ♀が現れ、対岸の林の上空をハイタカが滑翔した。風が強く吹いた割には鳥が出てくれた。 (千島康幸)

1月31日(土) 狭山市 智光山公園

参加: 30名 天気: 快晴

オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ コガモ キンクロハジロ カイツブリ キジバト カワウ ダイサギ オオバン ツミ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (37種) 毎回のよう思わぬ鳥との出会いを記録してきたが、今回は残念ながらサプライズは無し。そんな中、盛り上げてくれたのはカケス。2羽が高い梢に止まって休息中。首が疲れたけど、雨覆の青と黒との模様をはじめ、全身の特徴をじっくり観察出来た。

冬鳥の種類数はともかく個体数が少ないのが気になった。「枯れ枝にじっと固まり無我の境 ふくらカケスに陽もほほえみて」 (石光 章)

1月31日(土) 千葉県 銚子漁港

参加: 38名 天気: 晴

ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ シノリガモ クロガモ ビロードキンクロ ミコアイサ ウミアイサ カイツブリ アカエリカイツブリ カンムリカイツブリ ミミカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト アビ ヒメウ カワウ ウミウ アオサギ ダイサギ コサギ クロサギ オオバン イソシギ ミユビシギ ユリカモメ ウミネコ カモメ ワシカモメ シロカモメ セグロカモメ オオセグロカモメ ミサゴ トビ チュウヒ ノスリ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ イソヒヨドリ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ ホオジロ アオジ (55種 + ウミスズメ科不明種1、ハイタカ属不明種1) (番外: ドバト) 神之池でカモたちを見て、いざ神栖市高浜へ。高浜では強風で波が高く、波の合間にアビやクロガモなどの海鳥を見た。午後は銚子の食堂の2階で食事をしながらカモメの観察。目の前の堤防は工事の影響で、カモメたちが少なかったが、シロカモメを見る事が出来た。帰りにウオッセに寄り、買物や、第三漁港でのバードウォッチングを楽しんだ。カモメの識別を楽しみにしていた参加者に十分な説明が出来なかった事についてお詫び申し上げます。 (入山 博)

2月1日(日) 北本市 石戸宿

参加: 54名 天気: 晴

キジ マガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ クイナ バン ヒメアマツバメ トビ ハイタカ オオタカ ノスリ カワセミ コゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ シロハラ アカハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ アトリ ベニマシコ ウソ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (39種) 橋を渡り右折したらカケス。木道に降りたらベニマシコ。カワセミの池近くで進行方向からエナガ、シジュウカラ、メ

ジロの混群が飛来。梅林の地面でアトリが採餌中。桜堤を越えて河川敷へ。上空を5羽のヒメアマツバメが旋回。腰の白が目視で確認出来た。土手の上から公園を観察。地面で採餌する多数のカシラダカ。枝にはアカハラ。一夜堤でルリビタキ。北里の森沿いの道では何度もシロハラ。すぐ近くにアカウソ。浚渫中の高尾の池にはカモの姿なく、カワセミ、バン、アオサギ。隣の八つ橋の池でマガモ。いつものコガモはその姿無し。八つ橋を渡ってジョウビタキ。湿地に降りて採餌するアオジ、ホオジロ、ハクセキレイ。(吉原俊雄)

2月1日(日) さいたま市 民家園周辺
参加: 38名 天気: 晴

コハクチョウ オオハクチョウ オカヨシガモ
マガモ カルガモ オナガガモ コガモ ホシハ
ジロ ミコアイサ カワアイサ カイツブリ カ
ンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト
カワウ アオサギ ダイサギ コサギ オオバン
イソシギ ユリカモメ チュウヒ ノスリ カワ
セミ コゲラ チョウゲンボウ ハヤブサ モズ
ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ
ヒヨドリ メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビ
タキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラ
ヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ
アオジ オオジュリン(46種)(番外: ドバト) 強
風の中、寒さに耐えながらの探鳥。湖面に白くひ
ときわ目立つオオハクチョウ、コハクチョウ、ミ
コアイサ。アシの中から見え隠れするカワアイ
サ。ノスリのホバリング。チュウヒが飛んで、畑
に群れるタヒバリ。終わってみれば46種。調節池
周辺での今冬の鳥の多さにびっくり。(手塚正義)

2月5日(木) 戸田市 彩湖
雨のため中止。(小林みどり)

2月8日(日) 熊谷市 大麻生
参加: 22名 天気: 曇後雨

カイツブリ キジバト カワウ バン オオバン
コゲラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ
ラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ
ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハク
セキレイ セグロセキレイ カワラヒワ シメ
イカル ホオジロ カシラダカ アオジ(25種)
(番外: ガビチョウ) ゴルフ場の中ほどのエノキ

の下に、シメとイカルの、それぞれ50羽十の大き
な群れを見つける。地面に落ちた実をついばんで
いるようで、ときどき樹上に舞い上がることはあ
っても、群れ全体がこのお気に入りの場所から移
動することはなかった。ここでだいぶ時間を費や
してしまったのと、雨が降り始めたので、予定の
コースを回るのは断念。そのまままっすぐ押切河
原まで歩いて早目の解散とした。(榎本秀和)

2月8日(日) 所沢市 狭山湖
参加: 11名 天気: 曇後雨

マガモ カルガモ コガモ カンムリカイツブリ
キジバト カワウ ダイサギ トビ オオタカ
コゲラ カケス ハシブトガラス ヤマガラ シ
ジュウカラ ヒヨドリ メジロ ムクドリ シロ
ハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキ
レイ タヒバリ ウソ ホオジロ カシラダカ
アオジ(27種)(番外: ドバト、ガビチョウ) 例年
は湖面を賑わせているカンムリカイツブリの大群
が見えない。カンムリ…とハジロ…がそれぞれ数
羽。北へ帰ってしまったのか? ウソで盛り上
がったものの冬の鳥たちも個体数が少なく寂しい限
り。いやでも地球環境の変化に思いをはせざるを
えない探鳥会だった。「こはいかに浮くべき鳥の
姿無く 浪ぞ静けし如月の湖(うみ)」(石光 章)

2月14日(土) 滑川町 武蔵丘陵森林公園
参加: 44名 天気: 晴

ヨシガモ マガモ カルガモ コガモ カイツ
ブリ キジバト カワウ ダイサギ オオバン オ
オタカ コゲラ ハヤブサ カケス ハシボソガ
ラス ハシブトガラス ヤマガラ ヒガラ シジ
ュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ
シロハラ ツグミ ルリビタキ ジョウビタキ
ハクセキレイ ベニマシコ イカル カシラダカ
アオジ(31種)(番外: ガビチョウ) いきなり上空
をハヤブサが飛んだ。幸先の良いスタート。する
と次はルリビタキの♀タイプが出現。すぐに藪の
中に入ってしまったが、間もなく入れ替わるよう
にブルーの見事な♂が出てくれ、ゆっくりと姿を
見る事ができた。そしてこの日の次のプレゼント
はベニマシコ。やや離れてはいたがスコープを
使って真っ赤な♂を観察する事ができた。山田
大沼のカモは1月以降も数を減らしているが、♂
のヨシガモを見る事ができた。(中村豊己)



●「フィールドガイド日本の野鳥 増補改訂新版」発売開始



お待たせしました。当初の予定より遅くなりましたが、ついに発売されました。

本誌2ページの安西さんの講演内容にもある通り、図版や解説の順番は、前半・水辺の鳥、後半・山野の鳥とする初版の形

を大切に引き継いでいるので、一見するとあまり大きな変化はないように見えます。しかし内容は、日本鳥類目録改訂第7版と、新たに知られるようになった事などにに基づき、数千ヵ所も修正しています。図版の色も、派手になり過ぎず、できるだけ実物に近い色に印刷されるよう、細かい配慮が積み重ねられました。紙質も吟味して、ページ数が増えても、全体としては薄く、より扱いやすくなりました。

B6変形 392 ページ。税込 3,890 円。一部の探鳥会で販売しています。

● 会員の普及活動

5月20日(水)、NPO法人「国際自然学校」埼玉校、専科コース野鳥観察講座第1回が北本自然観察公園で開催され、小林みどり、石光章、榎本秀和、山部直喜が指導。受講者17名。

5月30日(土)、新ハイキングクラブ「野鳥を観る・知る14」が、熊谷市ひろせ野鳥の森で開催され、小林みどり、柴野耕一郎、工藤洋三、藤田敏恵が指導。参加者17名。

6月13日(土)さいたま市立浦和博物館主催の親子探鳥会が開催され、楠見邦博、新部泰治、小菅靖、石塚敬二郎が指導。参加者11名。

● 会員数は

7月1日現在 1,755 人。

活動と予定

● 6月の活動

- 6月13日(土)『しらこぼと』7月号校正(海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小林みどり、志村佐治、長嶋宏之、藤掛保司)。
- 6月21日(日)役員会(司会:石川敏男、9-12月の行事予定・その他)。
- 6月22日(月)『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』7月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

● 8月の予定

- 8月1日(土) 編集部会。普及部会。
- 8月8日(土) 9月号校正(午後4時から)。
- 8月15日(土) 袋づめの会(午後3時から)。
- 8月16日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

夕方、家でテレビを見ていると、庭を眺めていた妻に呼ばれた。行ってみると、息を飲むほどに美しいナガサキアゲハ♀が庭の花水木の葉の上にいる。ミヤマカラスアゲハやオオムラサキもいいけど、やっぱりナガサキアゲハ♀はいいなと呟きながら、そっと近づいて、写真を撮った。(藤原)

しらこぼと 2015 年8月号(第376号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 海老原美夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉(〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社